CHAPTER 1

Preface

目次

Preface

目次 **1-2**
安全にご使用いただくために **1-5**
FCC-B 無線周波数干渉に関する声明 1-5
FCC 規格 1-6
注意事項 **1-7**
リチウムバッテリーを安全にご使用いただくために **1-9**
WEEE 声明 **1-9**
商標 **1-10**
改訂履歴 **1-10**

Introductions

本書について **2-2**
製品を開梱したら **2-3**
製品仕様 **2-4**
各部位の名称とはたらき **2-7**
本体 操作面より 2-7
本体 正面より 2-10
本体 右側面より 2-11
本体 左側面より 2-13
本体 背面より 2-14

本体 裏面より 2-15

Getting Started

電源管理 3-2
AC アダプタ 3-2
バッテリーパック 3-4
バッテリーの取り扱いと保管について 3-7
快適にご使用いただくために 3-10
コンピューターを使用する環境について 3-10
正しい使用習慣を身に付けましょう 3-11
タッチパッドの操作 3-12
ハードディスクについて 3-14
周辺機器を接続する 3-15
外付け光学ドライブの接続 3-15
周辺機器と USB ポート 3-16
外部モニタの接続 3-17
ネットワークへの接続 3-17
安全なハードウェアの取り外し 3-19

BIOS Setup

BIOS セットアップ 4-2
BIOS 設定が必要な場合とは? 4-2

BIOS **の設定画面を開くには**? 4-2
BIOS **画面での操作** 4-3
BIOS 画面の起動 **4-4**
Main menu 4-5
Advanced menu 4-6
Boot menu 4-7
Security menu 4-8
Save & Exit menu 4-10

安全にご使用いただくために

FCC-B 無線周波数干渉に関する声明

本製品は、FCC 規定第 15 部に準拠する、クラス B デジタル機器製品です。本製品は主に商工業地区で使用されることを想定しており、密集した住宅地などで使用した場合は無線通信やテレビ・ラジオ等に雑音が入る場合（高調波障害）があります。このような障害が発生した場合、それを改善するために掛かる費用は使用者の負担となります。また、本製品を弊社の定める以外の方法で分解・改造・修理等行った場合は、FCC の定める適合基準を外れる恐れがあります。万が一高調波障害が発生した場合、システムの電源を切ることによって、この装置が干渉の原因であるかどうかを判断できます。システムの電源を切って障害が改善する場合、本装置またはその周辺機器が干渉の原因になっていると考えられます。装置が他の機器に干渉する場合は、以下の方法で干渉が起きないようにしてください。

・干渉がなくなるまでアンテナを移動させます。

・問題のおきている機器から本製品を離します。

・接続するコンセントを変更します。

・深刻な症状が現れる場合は電気店などの専門家にご相談ください。

注意

・製品の改良により予告無く仕様が変更される場合があります。

・本製品に接続するケーブル類は、できる限りシールドカバーのついたものをご使用ください。

FCC 規格

本製品は FCC 規定第 15 部に準拠しており、本製品の使用にあたっては以下の 2 つの条件が適用されます。

1.本製品は有害な干渉を付き起こすことはありません。

2.本製品は好ましくない動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、いかなる干渉にも順応します。

廢電池請回收

For better environmental protection, waste batteries should be collected separately for recycling or special disposal.

注意事項

	安全にご使用いただくため、本書をよく読んでください。禁止された事項は決して行わないでください。		本書は大切に保管してください。分からないことがあるときは、本書を参照してください。
	本製品を湿度の高いところや温度が高くなる場所に置かないでください。		本製品は、水平な安定した場所でご使用ください。
	本製品には吸排気孔が設けられており、過熱を防ぐ働きをしています。ご使用中に吸排気孔をふさいでしまわないように注意してください。		本製品の AC アダプターは 100～240V の環境で使用することができます。
	本製品に液体や粉末をこぼさないでください。製品内部に液体や粉末が入り込んだ場合、修復不可能な破損をこうむる可能性があります。		本製品は風通しの良い涼しい場所で保管してください。60℃を超えたり、0℃を下回るような環境に放置すると、製品の故障を招きます。
	ご使用中に AC アダプターの電源コードに、人の足が引っかかることがないようにご注意ください。電源コードの上に物を置かないでください。		本製品に機器を接続する際は、予め AC ケーブルを抜いておいてください。

本製品のバッテリーは弊社指定のものを必ずご使用ください。他社製品あるいは型番の異なるバッテリーを使用した場合、爆発などの事故に繋がるおそれがあります。

本製品に TV アンテナの同軸ケーブルを接続する場合は、そのケーブルがアースされていることを必ず確認してください。

温度が上昇したり、子供が手を触れたりする事のない安全な場所に、バッテリーを保管してください。

強い磁力を持つものや、大容量の電気を消費する製品の側に、本製品を置かないでください。

以下の状況が確認された場合、お買い上げの店舗のサービス担当者チェックを必ず受けてください。

・電源コードまたは電源プラグが破損している。
・製品内に液体が入った。
・製品が蒸気にさらされた。
・製品が動作しない、またはマニュアル通りに設定できない。
・装置を落とした、または破損した。
・製品が明らかに壊れたと認識できる状態。

リチウムバッテリーを安全にご使用いただくために

リチウムイオンバッテリーを不正に分解したり修理を行うと、破裂をおこす危険性があります。また、リチウムイオンバッテリーを火にかけたり、電極をショートさせると破裂する危険があります。これらの行為は絶対に行わないでください。
バッテリーの具合が悪い場合は無理に修理を行わず、メーカーから承認をうけたバッテリーと交換してください。

> 環境への影響を最小限に抑えるために、各自治体が定める方法に従ってリチウムイオンバッテリーを廃棄してください。

WEEE 声明

MSI は環境保護を推進するプログラムに参加しています。

European Union Directive で制定された WEEE 指令(2002/96/EC)は 2005 年 8 月 13 日より施行されています。この指令により、私たちは電子機器をゴミとして廃棄することはできなくなり、電子機器メーカーは使用済みの電子機器の回収が義務付けられました。MSI もこの電子機器回収プログラムに参加し、EU 圏内で販売された MSI 製品の回収を行います。不要になった MSI 製品は最寄りの回収スポットで回収します。

※この回収プログラムは現在のところ EU 加盟国内で行われています。

商標

本書に記載されているすべての商標は各会社の所有物です。

改訂履歴

Version	Revision Note	Date
1.0	日本語初版	2008 年 6 月

改良により製品の仕様が変更され、本書の記述と実際の製品とで違いが発生してしまう場合があります。何卒ご了承ください。
仕様等の変更についてはホームページ上でお知らせいたします。

CHAPTER 2

Introductions

このたびは本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品は携帯性を追求してコンセプトに開発されており、ノートブックPCとして洗練されたソリューションをユーザーにお届けします。PCならではの携帯性を生かし、ビジネスや旅行など様々な場面で活用してください。

本書について

本書の構成は以下の通りです。

第１章　はじめに 本製品を安全にご使用いただくための注意事項を記載しています。

第２章　各部位の名称とはたらきについて 製品の仕様、各部位の名称とその働き、製品の基本的な使用方法を解説します。バッテリーの取り扱いについても解説します。

第３章　周辺機器の接続 プリンターやマウスなどのUSB機器、ビデオカメラなどのIEEE1394機器、外部モニターなどの接続について解説します。

第４章　BIOSセットアップ BIOSの設定方法について解説します。

製品を開梱したら

製品を開けたら、まず最初に内容物の確認を行ってください。万一、内容物が破損していたり、欠品がある場合は、お買い求めになられた PC ショップまたはサービスセンターまで速やかに連絡してください。
内容物は以下の通りです。

Wind Note 本体	取扱説明書 (本書)
リチウムイオンバッテリー	AC アダプター
キャリーバッグ	製品保証書
ドライバーCD	

製品仕様

外形寸法

外形寸法 (突起物を除く)	260 (W) x 180 (D) x 19~31.5 (H) mm
質量	940g (本体) / 1260g (3 セルバッテリー装着時)

CPU

プロセッサー	Intel® Atomプロセッサー 1.6GHz (オンボード)
L2 Cache	512KB
FSB Speed	533 MHz

チップセット

ノースブリッジ	Intel® 945GSE
サウスブリッジ	Intel® ICH7M

メモリー

スロット	DDR2 SO-DIMM×2
動作周波数	DDR2 667MHz
最大搭載容量	2GB

電源

AC Adapter	40W, 19V
Battery Type	3 セルタイプ (標準モデル)

	6 セルタイプ (オプション)
内蔵ボタン電池寿命	約 2 年

I/O Port

VGA 外部出力	D-Sub15 ピン x 1
USB	×3 (USB 2.0)
マイク入力	×1
ヘッドフォン	×1
LAN	RJ45×1
カードリーダー	×1 (SD/ MMC/ MS)

ストレージ

HDD	2.5 インチ (9.5mm 厚), 5400rpm, 80GB

ネットワーク機能

LAN	10/100BASE-T×1
Wireless LAN	搭載

オーディオ/マルチメディア機能

サウンドコーデック	ALC 888S
内蔵スピーカー	ステレオスピーカー
音量調節	ホットキーによる調節が可能
web カメラ	(オプション)

VGA 機能

外部ディスプレイ検知	接続したディスプレイを自動的に検知。
外部ディスプレイ出力	対応 (アナログのみ)

Display

画面サイズ	10 インチ液晶
解像度	1024×600 (WSVGA)
輝度調整	ホットキーによる調節が可能

ソフトウェア & BIOS

USB フラッシュブート	DOS モードからの USB FDD ブートのみサポート
対応 OS	Windows® XP HomeEdition SP3

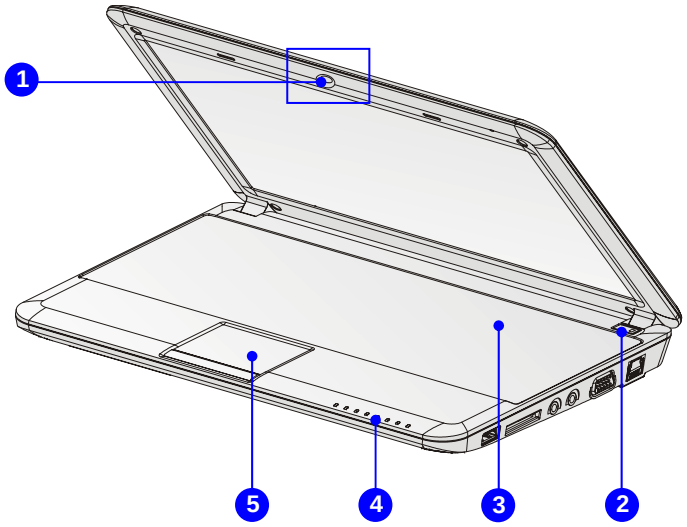
Others

盗難防止ワイヤー取付穴	1 箇所
互換性	WHQL

製品仕様の記述については誤解の無いように万全を期しておりますが、製品の改良により予告なく仕様が変更される場合があります。何卒ご了承ください。

各部位の名称とはたらき

本体 操作面より



1. web カメラ/ web カメラ LED
2. 電源ボタン/ Power LED
3. キーボード
4. 状態表示 LED
5. タッチパッド

INFO

The figures show here are for reference only.

1. **内蔵 web カメラ (オプション)**
   - 130 **万画素** CMOS **センサーを使用した** web **カメラです**
   - web **カメラの機能が** ON **になるとオレンジ色に点灯します。**

2. 電源ボタン / Power LED

Power Button

- Wind Note を起動します。

Power LED:

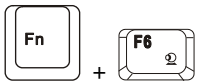
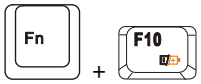
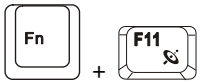
- システムが起動しているときは青く点灯します。
- エコモードにはいると緑色に点灯します。

3. キーボード

86 キーの日本語キーボードです。

<Fn>キーとファンクションキーによる操作

<Fn>キーとファンクションキー<F#>を同時に押して、特定の機能の操作を行います。

	<Fn>キーと<F6>キーを同時押しすることで web カメラの ON / OFF の操作を行います。
	<Fn>キーと<F10>キーを同時押しすることでエコモードの ON / OFF の操作を行います。
	<Fn>キーと<F11>キーを同時押しすることでワイヤレス LAN と Bluetooth の ON / OFF の操作を行います。<Fn>キーを押したまま<F11>キーを押していくと「ワイヤレス LAN ON」→「ワイヤレス LAN OFF / Bluetooth ON」→「ワイヤレス LAN ON / Bluetooth ON」→「ワイヤレス LAN OFF / Bluetooth OFF」の順番に機能が切り替わります。ネットワーク機能を使用するときだけ ON にするよう心掛けてください。

4. 状態表示 LED

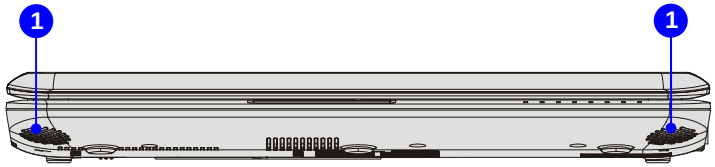
	ハードディスク: ハードディスクにアクセス中は緑色に点滅します。
	Scroll Lock :「Scroll Lock」**が有効の時は赤く点灯します。**
	Num Lock :「Num Lock」**が有効の時は赤く点灯します。**
	Caps Lock :「Caps Lock」**が有効の時は赤く点灯します。**
	バッテリー: ◆ **充電中は緑色に点灯します。.** ◆ **バッテリーの残量が残り少なくなるとオレンジ色が点灯します。** ◆ **バッテリーが切れる直前はオレンジ色が点滅します。** ◆ **充電が完了すると** LED **が消灯します。**
	Power On/ Off/ サスペンド: ◆ **サスペンド中は緑色が点滅します。** ◆ **システムの電源が落ちると** LED **は消灯します。**
 W/LAN Bluetooth	**ワイヤレス LAN / ブルートゥース :** ◆ **ワイヤレス機能が** ON **の時は緑色が点灯します。** ◆ Bluetooth **機能が** ON **の時は青色が点灯します。** ◆ **両方の機能が** ON **の時は、ワイヤレス機能は緑色に、**Bluetooth **機能は青色に点灯します。** ◆ **両方の機能が** OFF **の時は両方の** LED **が消灯します。**

本気を持参して飛行機に搭乗する際は、ワイヤレス LAN および Bluetooth の機能を必ず OFF にしてください。

5. **タッチパッド**

   本体内蔵のポインティングデバイスです。

本体 正面より

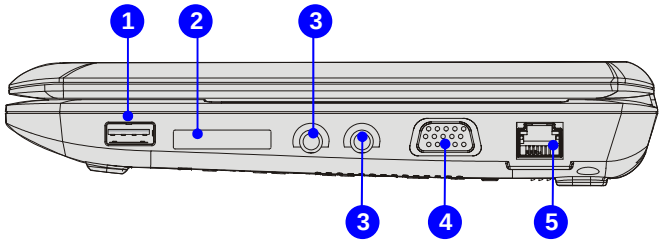


1. ステレオスピーカー

1. **ステレオスピーカー**

   本体内蔵の 2 チャンネルステレオスピーカーです。<Fn>キーと<F7>または<F8>を押して、音量の調節を行います。

本体 右側面より



1. USB ポート
2. 3 in 1 カードリーダー
3. オーディオジャック
4. D-Sub15 ピン端子
5. RJ-45 LAN コネクター

1. USB ポート

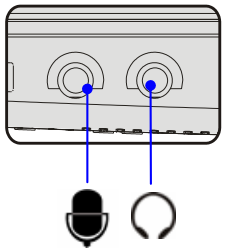
USB2.0 をサポートします。プリンター、スキャナー、外付けドライブ、マウス/キーボードなど、幅広い機器に対応します。USB 機器を動作させるには機器に付属するドライバーのインストールが必要になる場合があります。詳細は USB 機器に付属する取扱説明書を参照してください。

2. メモリーカードリーダー

MMC(マルチメディアカード)、SD カード、メモリースティック(MS)をサポートします。

3. **Audio Port Connectors**

   外部オーディオ機器と接続する 3.5mm **ステレオミニジャックです。**



	ヘッドフォン ： **外部スピーカーやヘッドフォンを接続します。**
	マイク入力 ： **マイクを接続します。**

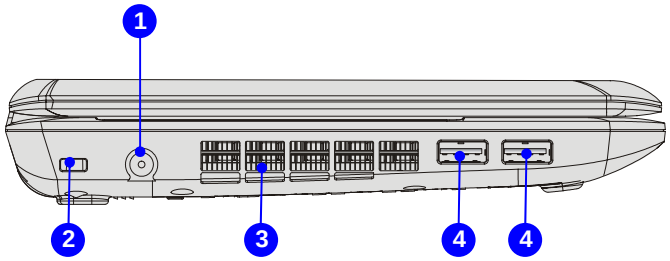
4. **D-Sub15 ピン端子**

   外部ディスプレイに映像出力を行います。

5. **RJ-45 LAN ポート**

   LAN **ポートです。イーサネットや** ADSL **への接続に利用します。**

本体 左側面より



1. AC アダプタコネクター
2. 盗難防止ワイヤー取付穴
3. 通気孔
4. USB ポート

1. AC アダプタコネクター

AC アダプターを接続します。

2. 盗難防止ワイヤー取付穴

盗難防止ワイヤーを取り付けることができます。取り付けの際には取付穴の孔サイズに合ったワイヤーを使用してください。

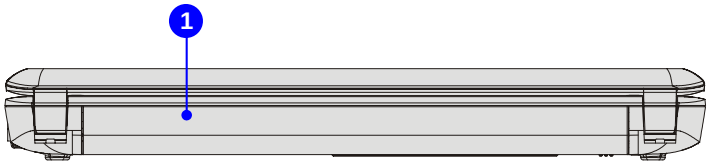
3. 通気孔

筐体内で発生した熱を排出します。使用中に側に物を置いて通気孔を塞いでしまわないように注意してください。

4. USB ポート

USB2.0 をサポートします。プリンター、スキャナー、外付けドライブ、マウス/キーボードなど、幅広い機器に対応します。USB 機器を動作させるには機器に付属するドライバーのインストールが必要になる場合があります。詳細は USB 機器に付属する取扱説明書を参照してください。

本体 背面より

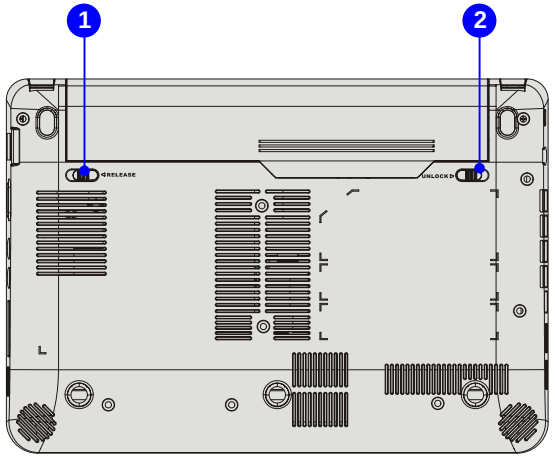


1. バッテリーパック

1. バッテリーパック

専用バッテリーを装着します。

本体 裏面より



1. Battery Release Button
2. Battery Lock/Unlock Button
3. Battery Pack

1. **バッテリーパック解放ボタン**
   バッテリーパックロックが「UNLOCK」の状態にあることを確認して、バッテリーパック解放ボタンをスライドさせます。取り外しの際にバッテリーパックを落とさないように注意してください。

2. **バッテリーパックロックボタン**
   バッテリーを固定するボタンです。ボタンが「UNLOCK」(固定しない)のポジションにある時に、バッテリーの取り外しを行うことができます。

CHAPTER 3

Getting Started

電源管理

AC アダプタ

ノートブック PC にはリチウムイオンバッテリーパックが付属しています。しかしノートブック PC を初めて使用する場合は、バッテリーの再充電を兼ねて、AC アダプターを使用することをお勧めします。本製品に接続する AC アダプターは製品に付属しているものを使用し、他メーカーあるいは他のモデルのアダプターは絶対に使用しないでください。

> AC アダプターの取り付け/取り外しは Wind Note の電源が落ちているとき行ってください。

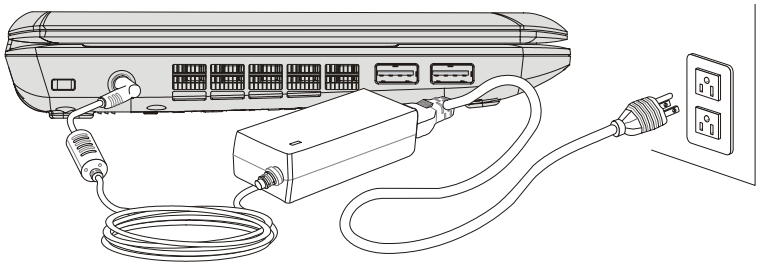
> AC アダプターは製品に付属するものを必ず使用してください。仕様の異なる不適切な AC アダプターを使用すると、製品に回復不能な損傷を与える場合があります。

ACアダプターの接続手順

1. 開梱時に AC アダプターと電源コードが同梱されていることを確認してください。
2. AC アダプターと電源コードを接続します。次にノートブック PC に AC アダプターを接続します。
3. 最後にコンセントに電源ケーブルを差し込んでください。

ACアダプターの取り外し手順

1. 最初にコンセントから電源コードを外します。
2. ノートブック PC から AC アダプターを外します。
3. AC アダプターから電源コードを外します。



バッテリーパック

本製品にはバッテリーパックが同梱されており、コンセントの無い屋外でも PC を使用することができます。バッテリーパックは充電により繰り返し使用できます。

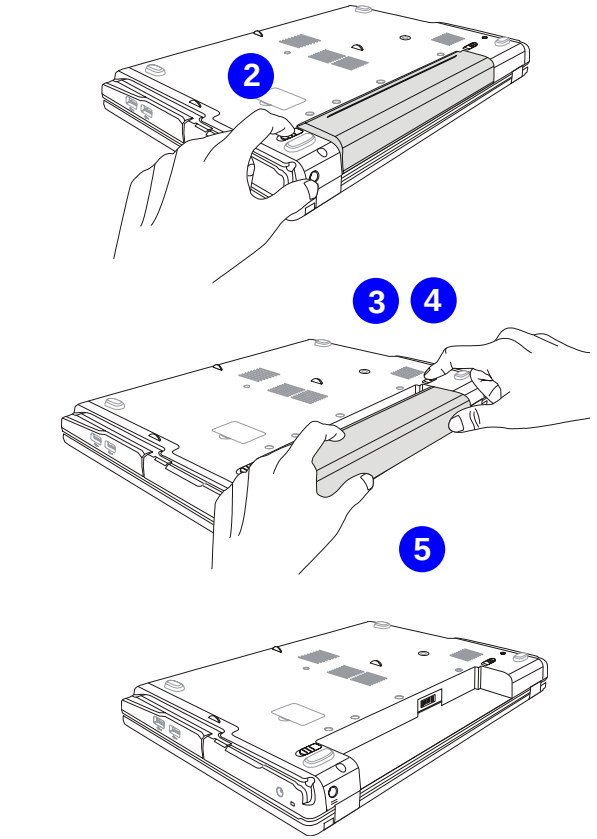
バッテリーパックは取り扱いを誤ると、破裂や発火などを引き起こす危険性があります。バッテリーの取り扱いにはくれぐれもご注意ください。バッテリーには改造や分解などの行為を絶対に行わないでください。

> バッテリーパックの持続時間は使用環境や動作条件、バッテリーパックの使用回数によって変化します。ご了承ください。

バッテリーパックの取り外し

バッテリーパックは以下の手順で取り外してください。バッテリーの交換では特に大きな力をいれる必要はありません。手ごたえが固い場合は、ボタンが固定状態になっていないか確認してください。無理な力で取り付け/取り外しを行うと故障の原因になります。

1. パソコンの電源を落とします。完全に動作が停止したことを必ず確認して下さい。
2. バッテリーロックボタンを「UNLOCK」にスライドさせます。
3. バッテリー解放ボタンを「RELEASE」にスライドさせます。
4. バッテリー解放ボタンを「RELEASE」にスライドさせた状態でバッテリーパックを手前に引き出します。



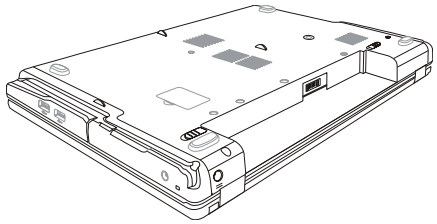
INFO

The notebook shown here is for reference only, and may vary from the actual one that users purchased.

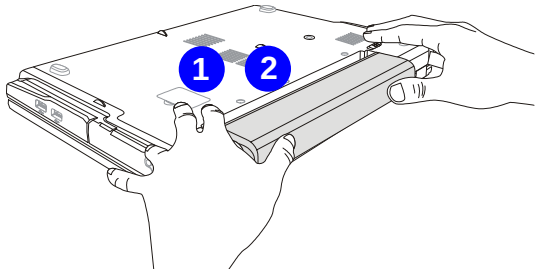
バッテリーパックの取り付け

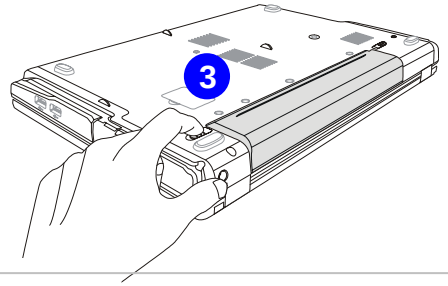
以下の手順でバッテリーパックを取り付けます。

1. バッテリーパックの向きを合わせて本体側へ押し込みます。バッテリーパックが正しくはまると、「カチリ」という音がします。



2. バッテリーロックボタンを「Unlock」の反対側にスライドさせてバッテリーを完全に固定します





バッテリーの取り扱いと保管について

バッテリーの取り扱いについて以下の点にご注意ください。

バッテリーの取り扱いや保管方法を誤ると感電、火災、破裂、製品の劣化などの危険性があります。以下の注意事項を守って安全にご使用ください。

- 交換するバッテリーはメーカーが推奨する同等品を使用してください。
- バッテリーの分解、改造は決して行わないでください。
- バッテリーを火にくべたりすることは絶対にしないでください。またストーブの傍など気温が 60℃ (華氏 140 度)を超えるところに放置しないでください。
- AC アダプターをバッテリーに接続した状態で、本体からバッテリーを取り外したり、取り付けることは絶対に行わないでください。動作不良の原因になるほか、最悪の場合は製品を破損することがあります。
- 製品を輸送する場合は、必ず本体からバッテリーを取り外してください。
- ノートブック PC が起動している/いないにかかわらず、バッテリーの充電が行われない場合は、本体、バッテリー、AC アダプターを取り外して丸 1 日程度放置してください。問題が解消する場合があります。
- 錆びていたり、外部から劣化が確認できるバッテリーを使用しないでください。

バッテリーの保管について以下の点にご注意ください。

- 子供の手の届かないところに保管してください。
- ノートブック PC を長期間(2 週間以上)使用しない場合は、本体からバッテリーを取り外して保管くだ

さい。

- 本体およびバッテリーは乾燥した風通しのよい場所で保管してください。自然放電によるバッテリーの完全放電状態を避けるため、定期的(4 ヶ月に 1 回程度)にフル充電を行ってください。
- 取り外したバッテリーがショートする危険を避けるため、保管および持ち運びの際は、購入時にバッテリーが収まっていたビニール袋(静電防止処理が施されたもの)の中に入れてください。
- バッテリーを廃棄する場合は、ユーザーがお住まいの地域の地方自治体が定める規則に従ってください。なお、廃棄の際にはショート(短絡)防止のために、コネクター部分を絶縁テープなどを貼るなどの処置を行ってください。

上手な電源管理

Wind Note の正常な動作には、バッテリーパックから適切な電源供給が不可欠です。使用中にバッテリーの電源が切れた場合、使用中のファイルデータを消失したり、本体設定が消えてしまうことがあります。以下のヒントを参考にして、バッテリートラブルに遭わないようにご注意ください。

- システムのアイドル時にはサスペンドモードに入るように設定してください。また、サスペンドモードに入るまでの時間を短く設定すると、節電効果が上がります。
- バッテリーで駆動している場合、15 分以上使用しない時は電源を切ることをお勧めします。
- 必要の無い設定は OFF にしてください。また、本体の電源を使用する周辺機器(USB 機器など)を接続している場合、使用が終わったらすぐに機器を外してください。
- AC アダプターを使用できる環境では、できる限り AC アダプターを使用してください

充電に関する注意

バッテリーパックをノートブック PC に装着した状態で AC アダプターを接続すれば、それだけでバッテリーパックの充電を行うことができます。

- バッテリー残量が少ない場合は、作業中のデータをセーブして、速やかにプログラムを終了してください。
- AC アダプターが接続されていれば、ノートブック PC を使用している間も充電が行われます。
- バッテリーは繰り返し充電して使用できますが、放電/充電を繰り返す回数には限りがあります。過度に充電を繰り返すとバッテリーの劣化を早める原因になります。
- バッテリー残量の有無に関わらず充電を行うことができます。ただし、完全にバッテリーを使い切ってから充電を行うほうが、バッテリー寿命が長持ちします。
- PC を使用していない間でも、自然放電によりバッテリー残量が減ります。これにより、充電後と使い始めとでバッテリー残量が異なる場合があります。
- バッテリーの充電に要する時間は、バッテリーの使用期間や充電中の作業負荷(充電中に使用する場合)によって異なります。
- バッテリーの駆動時間が極端に短くなった場合は、バッテリーの寿命です。

快適にご使用いただくために

パソコンビギナーの方やノートタイプのパソコンを始めて使われる方は、お使いになる前に本項の内容をよく読んでください。

コンピューターを使用する環境について

ノートタイプのコンピューターは、持ち運びが簡単で使用する場所が限定されないので、デスクトップ PC とは一味違った利便性をユーザーに提供します。しかし仕事などで長時間使用する場合には、身体に負担が掛からないように環境を整えてご使用ください。

- 部屋を十分に明るくして使用してください。
- 机と椅子は事前に自分の体つきに合わせて調節し、自然な姿勢で操作できるようにしましょう。
- もたれのある椅子のほうが快適に作業ができるでしょう。
- 椅子に座って足を地面に付けた際に、肘と膝の曲げ具合が 90 度程度になるのが理想です。
- キーボードに触れているとき、手首を支えられる程度の机の広さが必要です。
- 液晶パネルはユーザーが見やすい位置と角度に調整してください。
- 窮屈な姿勢をとったり目が疲れる場所での使用は避けてください。
- 本製品は電子機器に該当します。取り扱いには十分気をつけてください。
- 使用中に身体の異常を感じる場合は、直ちに使用を中止してください。

1. 腕や足の力を抜いて操作できる姿勢を心掛けてください。
2. 液晶画面が見やすいように角度を調節してください。
3. 机の高さを調節してください。
4. 背筋を伸ばして座ってください。
5. 膝が 90 度にに曲がる程度に、椅子の高さを調節してください。

正しい使用習慣を身に付けましょう

長時間コンピューターを使用していると肩が凝ったり目が疲れたりします。体に負担が掛からないように正しい使用習慣を身に付けましょう。以下に挙げる点はユーザーの健康を守るために必ず守ってください。

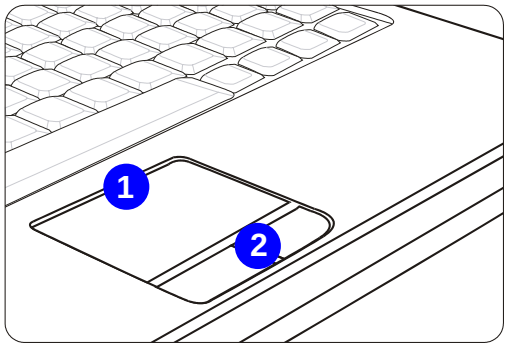
- 姿勢を時折変えるように心掛けてください。全く同じ姿勢を長時間とり続けないでください。
- 1 時間使用したら、必ず 10 分以上の休憩を挟んでください。
- 休憩時には首、肩、腕、腰、脚などの柔軟体操を行ってください。また、外の景色(あるいは部屋の遠いところ)を見て、目の疲れを取るように心掛けてください。

タッチパッドの操作

本製品にはポインティングデバイスとしてタッチパッドが搭載されています。タッチパッドはマウスと同等の機能を持ち、場所を選ばずにマウス操作が行えるので大変便利です。

1. **マウスポインタ操作エリア**
   タッチパッドの圧力を感知する部分です。この部分で指先をなぞると、その動きに連動してマウス・ポインタが移動します。

2. **Enter キーボタン**
   キーボードの Enter キーと同じ働きをします。



INFO

The touchpad figures shown here are for reference only, and may be different from the notebook that users purchased

タッチパッドに触ってみよう

タッチパッドを使用するにあたって以下の操作を覚えてください。

■ **タッチパッドでポインタを操作する**

指先をタッチパッドの広い平らな部分「マウスポインタ移動エリア」に置いて、指先を軽くなぞると、その動きに連動して画面上のマウスポインタが移動します。指が「マウス・ポインタ移動エリア」の端にきたら、指を一旦離してパッドの中央に位置を取り直します。強い衝撃を与えたり、爪で引っかいたりしないように注意してください。

■ **ポインタとクリック**

アイコンやメニュー項目の上にポインタを移動するとメニューやコマンドが表示されます。マウスポインタ移動エリアを指先で軽くポンと叩く(タップする)か左ボタンを押すと、ポインタがあたった項目を選択します。この一連の動作はノートブック PC の基本的な操作方法です。ポインタ移動エリアをすばやく 2 回タップすると、ダブルクリックの動作となって選択した項目を実行します。タッチパッドはポインタ操作エリアでのクリック動作が可能なので、とてもスムーズにポインタを操作することができます。

■ **ドラッグ・アンド・ドロップ**

「ドラッグ・アンド・ドロップ」の操作をタッチパッドでも行うことができます。移動させたいアイコンなどの上で 2 回タップして、その 2 回目の時に指先をポインタ移動エリアに着けたまま、指先を滑らせるとアイコンなどをドラッグします。指先を離すとドロップします。アイコンなどを選択して左ボタンを押しままにしても、同様にドラッグを行うことができます。

ハードディスクについて

本製品は 2.5 インチ IDE (Integrated Drive Electronics)ハードディスクをサポートします。ハードディスクは他のストレージ･デバイスと比較して、速度、記録容量の面で抜群に優れています。その長所を活かして、OS やソフトウェアがインストールされ、またユーザーのドキュメント保存に使用されます。
内蔵の HDD は取り外し/取り付けを頻繁に行う用途には適していません。しかし、より大きな容量の HDD に交換して用途を広げることは可能です。

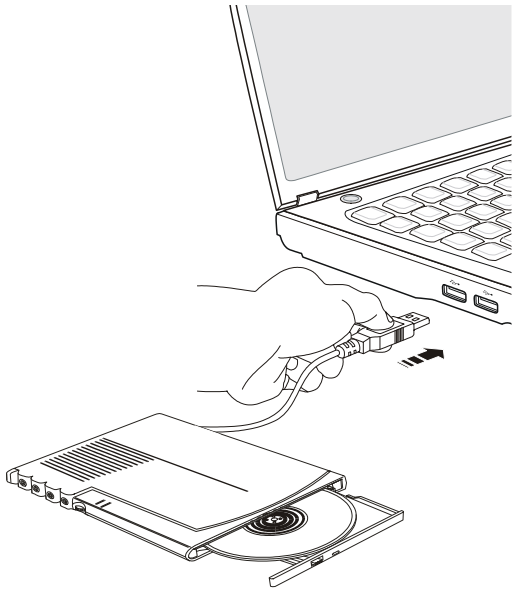
- 万が一のデータ消失に備えて、ユーザーの責任においてデータのバックアップを定期的に行ってください。
- ハードディスク(HDD)にアクセスしているとき(HDD LED が点灯中)に、電源を落とさないでください。
- パソコンの電源が入った状態で、HDD やメモリーなどの内部デバイスの取り付け、取り外しを決して行わないでください。

周辺機器を接続する

外付け光学ドライブの接続

本製品は光学ドライブを内蔵していないため、ソフトウェアのインストールや OS の再インストールを行うには外付けの光学ドライブ(別売り)が必要になります。外付けの光学ドライブは USB2.0 インターフェイスの製品をお選びください。

外付けの光学ドライブは下図の様に USB ポートに接続するだけで手軽に使用することができます。

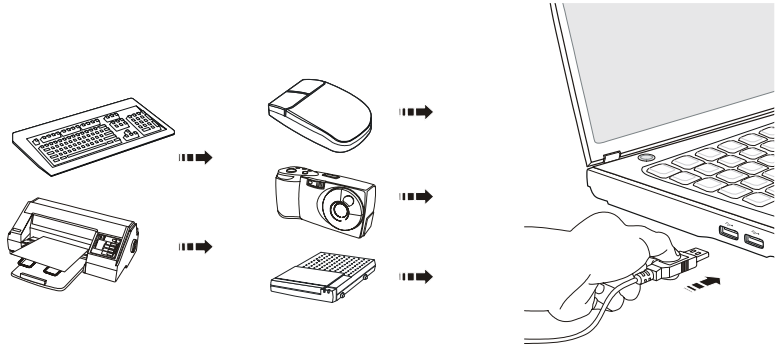


INFO

The devices shown in the reference figures here may be different from the devices users have.

周辺機器とUSBポート

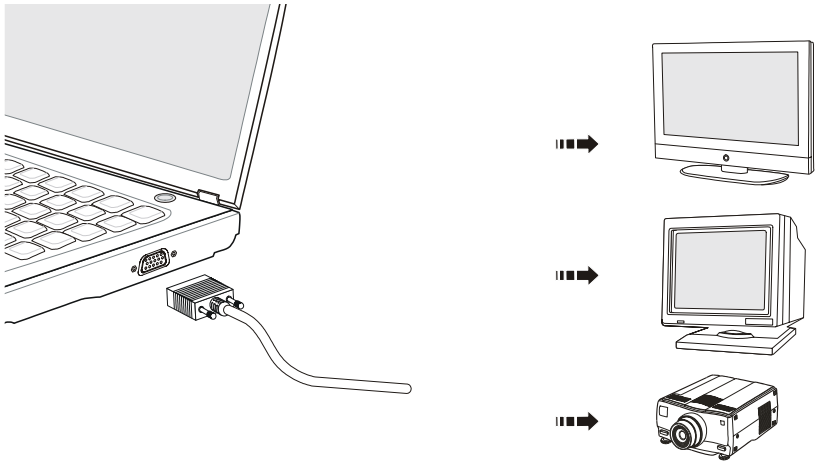
本製品は小型のノートパソコンではありますが USB ポートを 3 ポート装備しており、様々な周辺機器と接続することができます。USB ポートは拡張 I/O ポートとして大変汎用性が高く、プリンターやスキャナー、デジタルカメラ、外付けの光学ドライブや HDD、USB メモリーなど多くの機器が用意されています。



外部モニタの接続

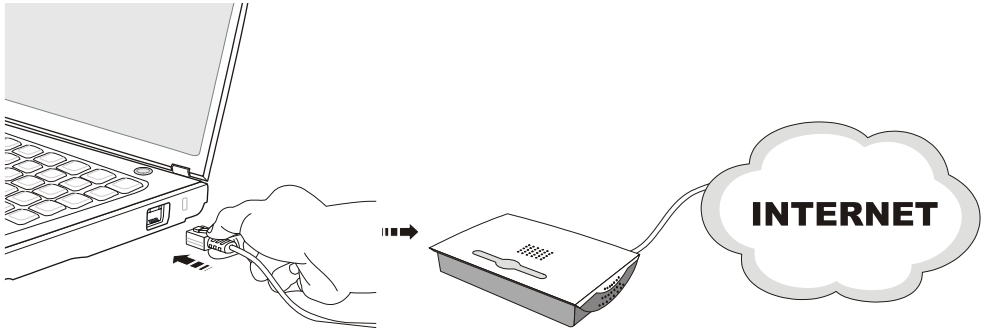
本製品は D-Sub15 ピン端子を使用して、本体に表示される画面を外部にアナログ出力させることができます。したがって、出先で Wind Note に保存した映像や画像を大きな画面で見たり、プレゼンテーションに活用することができます。

Wind Note に接続された外部モニタは自動的に検知され、デフォルト画面は外部モニタとなります。出力先を切り替える場合は<Fn>キーと<F2>キーを同時に押してください。画面出力の詳細な設定は Windows の「画面のプロパティ」から行います。



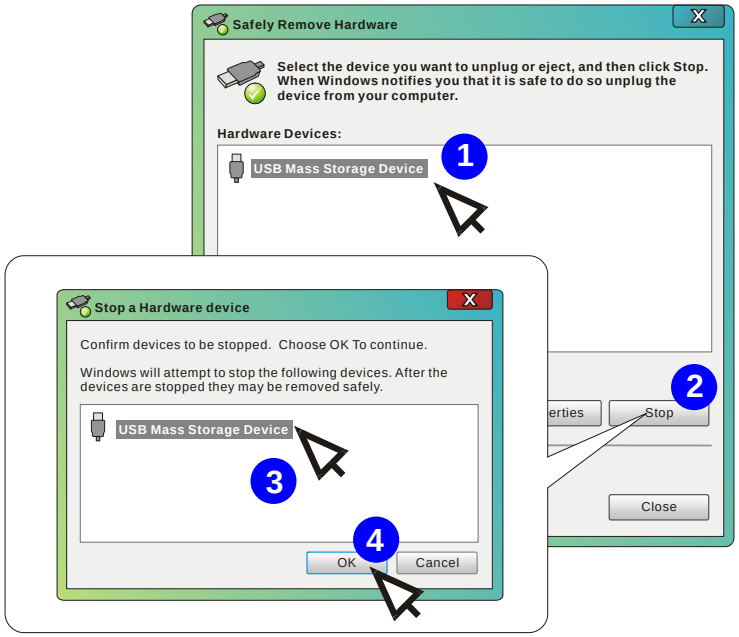
ネットワークへの接続

本製品は 10/100BASE-T LAN とワイヤレス LAN を装備しており、インターネットやイーサネット LAN に接続することが可能です。接続方法の詳細については、インターネット接続業者が提供するマニュアルや OS のネットワーク設定を参照してください。



安全なハードウェアの取り外し

Plug&Play に対応した機器を接続すると、タスクトレイには「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンが表示されます。このアイコンをクリックすると「ハードウェアの安全な取り外し」メッセージボックスが表示されます。そのメッセージボックスをクリックするとデバイスが停止します。アイコンを右クリックする、あるいはデバイスが複数接続されている場合は、「ハードウェアの安全な取り外し」ウィンドウが表示されます。ウィンドウの一覧から取り外すデバイスをクリックすると、そのデバイスのと動作が停止します。



CHAPTER 4

BIOS Setup

BIOS セットアップ

BIOS 設定が必要な場合とは?

BIOS の設定変更を行うのは以下のような場合です。

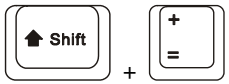
- デフォルト(初期状態)の BIOS 設定をカスタマイズする場合
- ノートブック PC が起動するときにエラー・メッセージが出て、BIOS の設定変更を要求された場合
- BIOS 設定をデフォルトに戻す場合

BIOS の設定画面を開くには?

パソコンの電源をいれた直後の POST 画面でキーボードの<Del>キーを押すと BIOS 画面セットアップユーティリティーが起動します。電源ボタンを押したら、すぐに<Del>キーを押しっぱなしにすると簡単です。BIOS 画面の起動に失敗した場合には、パソコンを再起動して、再度同様の操作を行ってください。

BIOS 画面での操作

BIOS 画面の操作はキーボードで行います。

	カーソルを左に移動します。		カーソルを右に移動します。
	カーソルを上に移動します。		カーソルを下に移動します。
	設定値を変更するのに使用し、値を大きくします。		
	設定値を変更するのに使用し、値を小さくします。		
	1) カーソルが選択している項目を開きます(メニューの下層へカーソルを移動)。 2) 設定を決定します。		
	メニュー画面の切り替え(タブ移動)を行います。		
	BIOS のヘルプを表示します。		
	1) TOP メニュー画面で押すと BIOS セットアップを終了します。 2) メニューの上層へカーソルを移動します。		

BIOS 画面の起動

BIOS 画面を起動するとメインメニューが表示されます。

Main Menu

BIOS バージョン、CPU やシステムメモリの情報、日付など基本的な情報を表示します。

Advanced Menu

IDE および USB 関連の設定を行います。

Boot Menu

ブート設定(起動時に OS を読み込みにいくデバイスの設定)を行います。

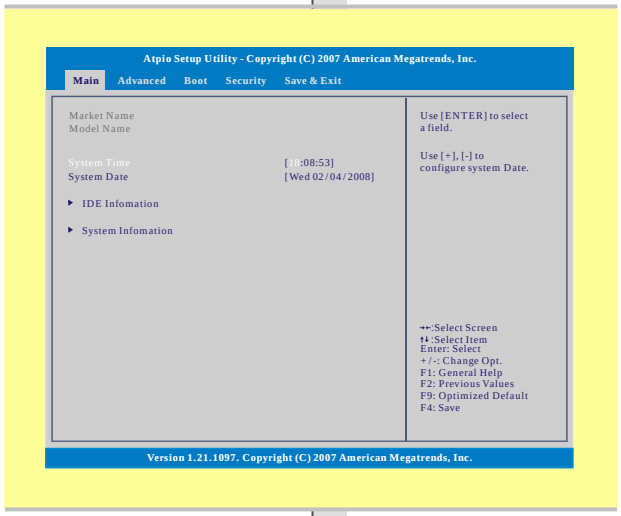
Security Menu

パスワードを設定します。

Save & Exit Menu

設定した内容を保存したり、あるいは設定を破棄して BIOS 画面を終了させます。

Main Menu



- **System Time**

  時刻を設定します。

- **System Date**

  日付を設定します。

Day (曜日)	Sun(日曜)～Sat(土曜) **年月日を入力すると自動的に設定されます**
Month (月)	1～12
Date (日)	1～31
year (年)	**正しい値を数字キーで入力してください**

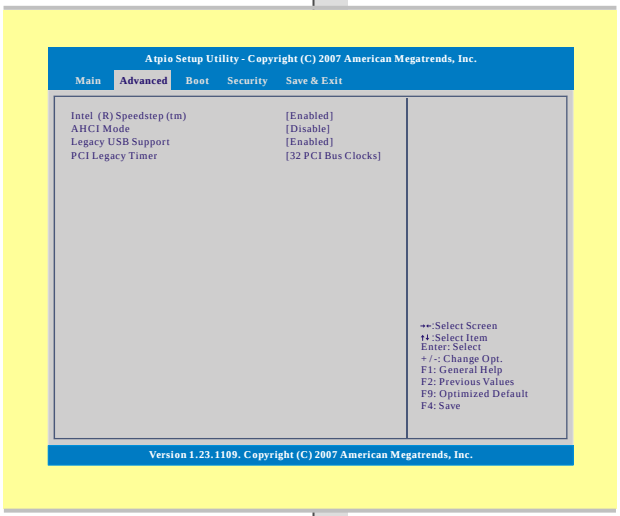
- **IDE Information**

  IDE **チャンネルに接続されたデバイスを表示します。**

- **System Information**

  BIOS **バージョン、搭載** CPU、**搭載メモリー容量を表示します。**

Advanced Menu



- **Intel(R) SpeedStep(tm)**

  Intel SpeedStep テクノロジーの有効/無効を設定します。SpeedStep テクノロジーは CPU の付加に応じて電圧と周波数を変化させ、過剰な電気の消費とそれに伴う発熱を抑える機能です。設定オプションは[Enabled]と[Disabled]です。
  ※SpeedStep テクノロジーをサポートする CPU を搭載した場合に設定が可能です。

- **AHCI Mode** (Advanced Host Controller Interface)

  AHCI モードの有効/無効を設定します。 [Enabled]に設定すると、NCQ などの拡張機能を使用することができます。(※HDD の機能に依存します)
  設定オプションは [Enabled]と[Disabled]です。

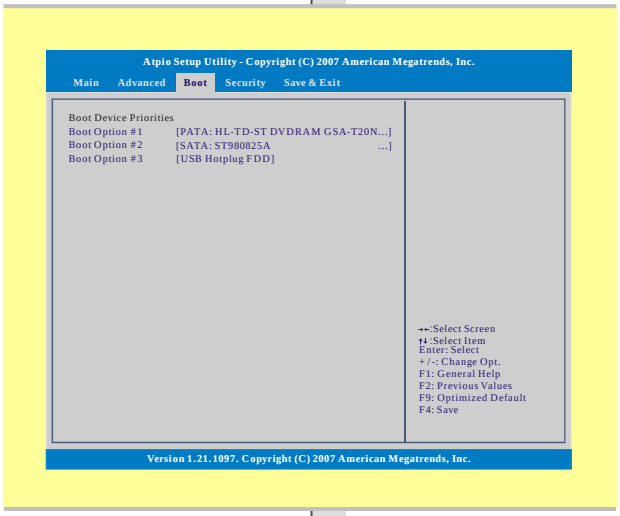
- **Legacy USB Support**

  外付けの USB デバイスを DOS 環境で使用する場合に必要な設定です。外付けのフロッピーディスクからブートを行う場合などは[Enabled]に設定します。

- **PCI Latency Timer**

  PCI デバイスがバスを占有する時間を設定します。接続デバイスが少ない環境では、設定値を 1 ～ 2 レベル程度長めに設定すると個々のデバイスのパフォーマンスが上がる場合があります。設定オプションは[32], [64], [96], [128], [160], [192], [224], [248]です。

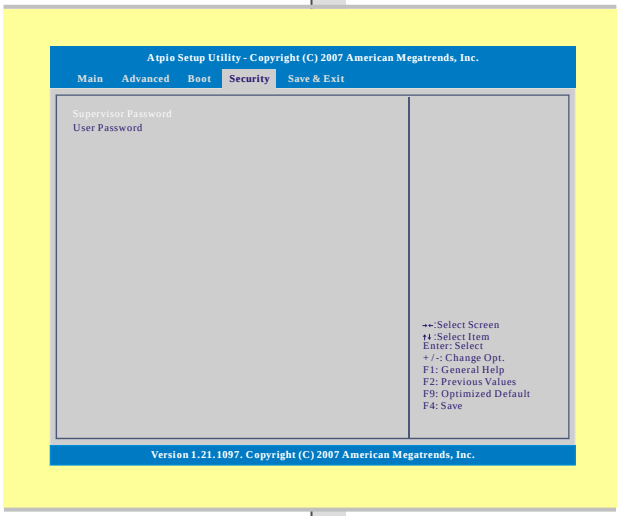
Boot menu



- **Boot Device Priority**
  ブートデバイス(システム起動のためにOSを読みに行くデバイス)の順番を設定します。

- **1st, 2nd , and 3rd Boot Option**
  ブートデバイスの優先順位を設定します。

Security menu



パスワードを設定する際には下図のようなメッセージが表示されます。入力するパスワードは半角英数で 6 文字までです。

```
Enter New Password
```

入力したら<Enter>キーで確定します。入力後に <Esc> キーを押して終了した場合は、パスワードの設定は有効になりません。
入力後にパスワードの確認を求められますので、設定したパスワードを再度入力してください。この確認でパスワードを正しく入力できなかった場合は、パスワードは設定されません。

Supervisor Password

「Supervisor Password」を設定すると、「User Access Level (アクセスレベル)」という項目がメニューに追加されます。アクセスレベルとは「Supervisor Password」を知らない人に許された BIOS へのアクセス権限のことです。詳しくは次ページの表を参照してください。

User Password

「User Password」を設定すると、「Password Check (パスワードチェック)」という項目がメニューに追加され、[Setup]または[Always]のどちらかを設定します。詳しくは次ページの表を参照してください。

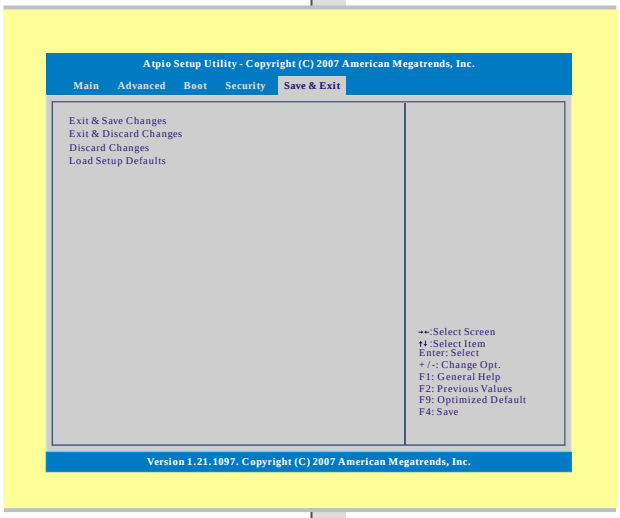
パスワードの有無	パスワード入力	アクセスレベル
設定	入力 (※1)	BIOS の設定を自由に変更することができます。パスワードの変更も可能です。
	Enter キー (※2)	No Access : BIOS 画面を開くことはできません。
		View Only : BIOS 画面を開くことはできますが、設定変更は一切できません。
		Limited : 時間/日付などの設定は自由に変更できますが、その他の項目は変更できません。
		Full Access : Supervisor Password 以外の設定を変更することができます。
非設定	BIOS 画面が開きます	

※1 設定した Supervisor Password を入力します。

※2 Supervisor Password を知らないユーザーは、パスワードをに入力する代わりに<Enter>キーを押します。

パスワードの有無	条件	
設定	Setup	BIOS 画面を起動する時にパスワードの入力を求めます。
	Always	電源投入後にパスワードの入力を求めます。正しいパスワードを入力しない限り、システムおよび BIOS 画面を起動させることはできません。
非設定		

Save & Exit menu



- **Exit and Save Changes**

  この項目にカーソルを移動して[Enter]キーを押すと、変更内容を保存して BIOS 画面を終了します。

- **Exit and Discard Changes**

  変更内容を保存せずに BIOS 画面を終了します。変更した内容はシステムに反映されません。

- **Discard Changes**

  変更内容を破棄し、変更前の状態に戻します。

- **Load Setup Defaults**

  工場出荷時のデフォルト設定をロードします。安定性とパフォーマンスのバランスが取れた設定値です。